

# 検討範囲とストックマネジメントの実施フロー

## 1. 検討範囲

- スtockマネジメントについては「基本的な考え方」が示されているものの、Stockマネジメントの導入を進めるためには、より実践的な手引きの作成が必要
- 本検討委員会では、既存施設の改築・維持管理に重点を置いた施設管理計画の策定を中心に、以下について検討する。
  - ①要素技術の検討・整理
  - ②目標設定の考え方
  - ③計画策定のための実務的な作業手順の整理
  - ④施設管理情報の整備状況に応じたStockマネジメント手法のレベルアップ(精度向上)の考え方

## 2. Stockマネジメントの実施フロー

- Stockマネジメントの流れは、「基本的な考え方」に示されており、この流れを基本とし、海外の事例等を参考としつつ、Stockマネジメントの詳細な実施フロー案を設定する(図2-2 参照)。

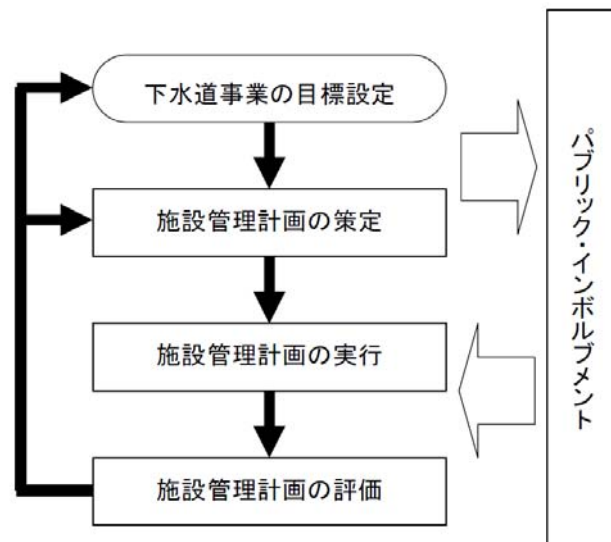


図 2-1 Stockマネジメントの流れ(「基本的な考え方」P.10、図3-1-1より)

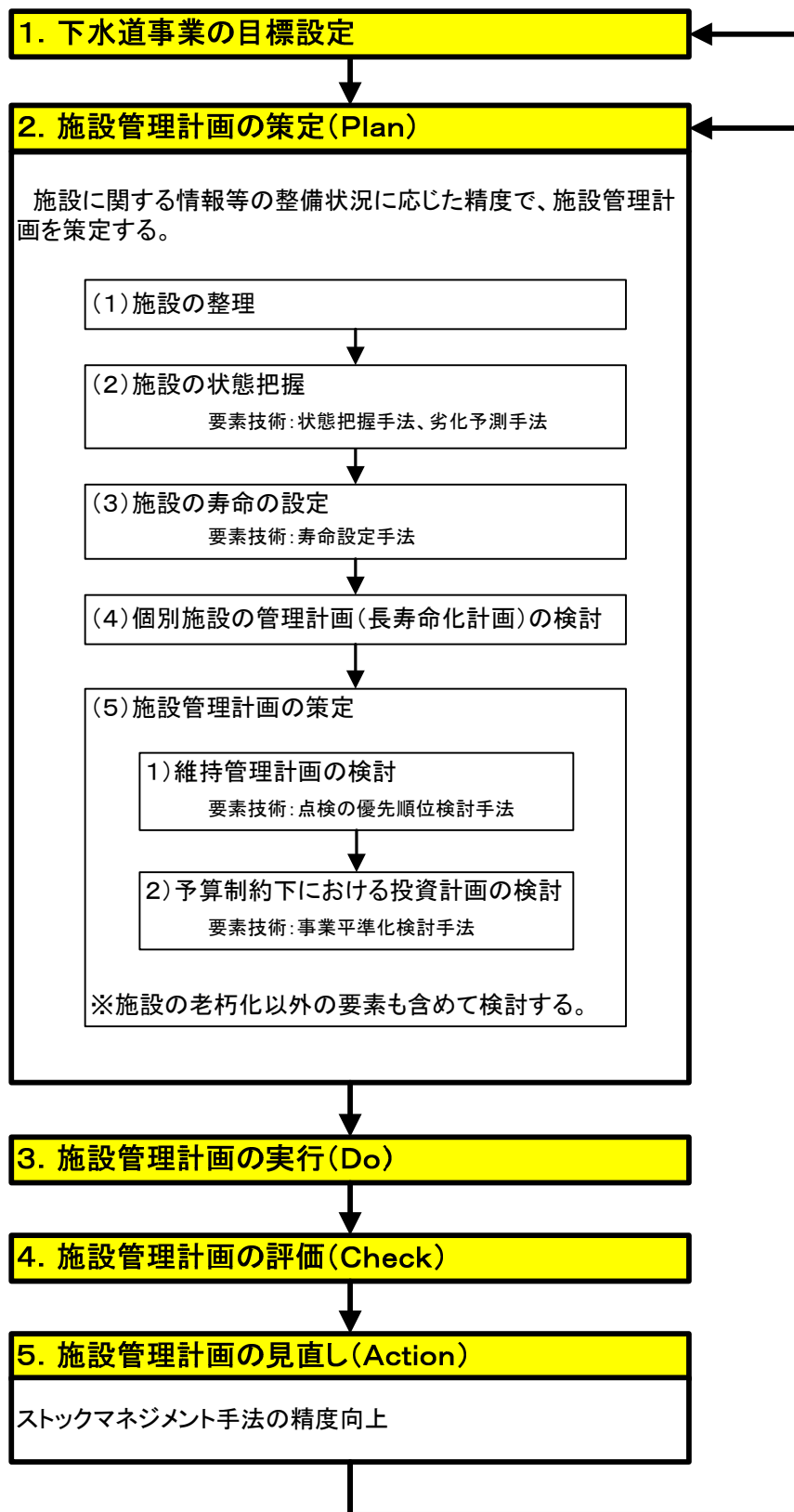


図 2-2 下水道事業におけるストックマネジメントの実施フロー案

(参考：海外の下水道事業におけるアセットマネジメントの実施フローの例)

本検討委員会で下水道事業におけるストックマネジメントの実施フローの参考とした、USEPAで推奨しているアセットマネジメントの基本プロセスは以下の10のステップで構成されている。

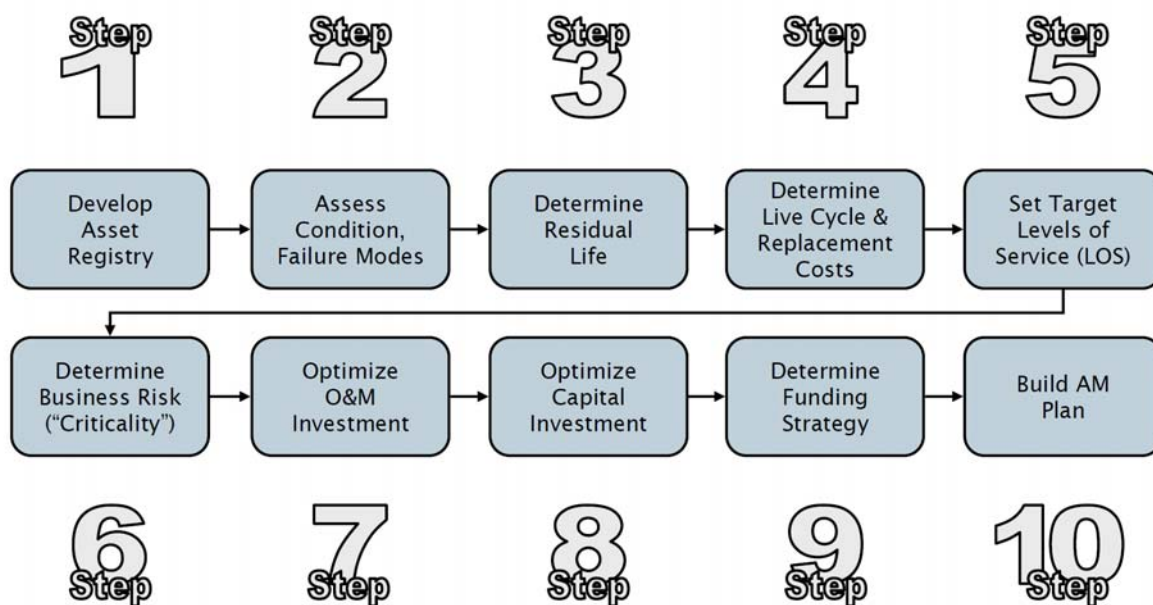


図-1 EPAで推奨しているアセットマネジメント基本プロセス

(USEPAワークショップ資料より)